

# 街角の話題



## ぶしぎを追って

370

— 研究室の扉を開く —

理化学研究所  
バイオリソースセンター  
バイオリソースとは？  
生命科学を支える  
生物遺伝資源です

### 凍結・融解

## 命を復活させる技術

でした。

理研バイオリソースセンター(BRC)ではさまざまな生物資源を収集・保存・提供しています。が、そのすべてを生きたまま保存しようとすれ

して受精させれば、新しい命として誕生してくるわけですが、正常な命として、より効果的に復活させるためには、その凍結・融解技術をさらに高める必要があります。

家庭用冷凍庫で凍らせた食品の消費期限がせいぜい数カ月程度だとすれば、同様に家庭用冷凍庫で凍らせたマウスを新しい命として復活させるた

そこからどのようにして命をつむげば良いのでしょうか？その場合、クローム技術を用いればその命を復活させることができ

めるといいます。精子や卵子がで

きるような状態の生物資源(バイオリソース)からでも、そこから命として復活させて種を維持することが可能となります。もしかしたら将来、永久凍土で凍っているマンモスの命も復活させることができるようになるかもしれません。

(遺伝工学基盤技術室 本多 新)

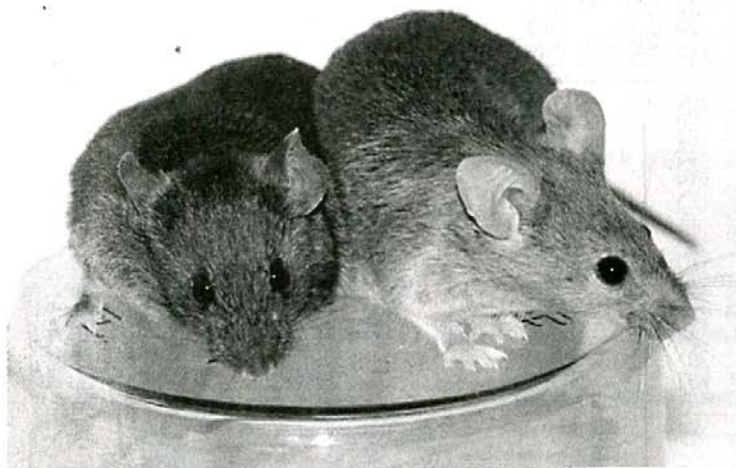
年末に家の冷凍庫を大掃除していたところ、いつものかわからない化石のようになった牛肉を見つけました。たいていの食品には賞味期限や消費期限があります。肉や魚などであれば冷蔵で数週間、冷凍でも数カ月が「食品」としての限界でしょう。当然、その「化石」は食べることをあきらめざるを得ません

ば、維持にかかる場所や費用は膨大なものとなります。そのため、例えばマウスであれば一部は精子や卵子、および受精卵としてマイナス196度の液体窒素で凍結させることにより、貴重な「種」を効率的かつ半永久的に保存することが可能となります。

め

め

め



15年間凍っていた体から採取した精子で復活したマウス